

日本救急医療財団の活動報告

平 賢二 事務局長

2018年2月中旬から4月上旬までの財団の活動について報告します。

総務部門に関する報告

仁平 正行 総務部

1. 常任役員会開催について

3月1日（木）13時30分より財団会議室において、常任役員会が開催されました。

議題は、①平成29年度収支予算書（変更案）、②平成30年度事業計画及び収支予算書（案）、③評議員の現員数、④役員の選任、⑤「事業推進総括委員会」及び「救急医療総合研究委員会」の廃止「第13回評議員会開催」に係る決議及び報告事項について審議されました。

評議員の美濃部嶮医療法人財団康済会病院長が平成29年7月29日に死去され、また山村秀夫元理事長が平成29年11月25日に死去された報告があり、理事会及び評議員会において黙祷によりご冥福をお祈りすることとした。

2. 第13回理事会開催について

3月15日（木）14時10分より東京ガーデンパレスにおいて理事会が開催されました。

会に先だち、評議員の美濃部嶮医療法人財団康済会病院長が平成29年7月29日に死去された報告及び山村秀夫元理事長が平成29年11月25日に死去された報告があり、理事会において黙祷によりご冥福をお祈りした。

議長には、定款第37条により行岡哲男理事長があたり、議事録署名人には、定款第44条第2項により出席の増本直樹監事があたることを確認しました。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 平成29年度収支予算書（変更案）について
- (2) 平成30年度事業計画及び収支予算書（案）について
- (3) 「事業推進総括委員会」及び「救急医療総合研究委員会」の廃止について
- (4) 第13回評議員会開催に係る決議について

<報告事項>

- (1) 評議員の現員数について
- (2) 役員の選任（予定）について
- (3) 第14回理事会の招集について
- (4) 第41回救急救命士国家試験の応募状況について
- (5) 救急蘇生法普及推進事業委員会について
- (6) 平成29年度病院前医療体制充実強化事業について
- (7) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について

平成29年度収支予算書(変更案)、平成30年度事業計画及び収支予算(案)、「事業推進総括委員会」及び「救急医療総合研究委員会」の廃止、第13回評議員会開催(平成30年6月18日(月)、13:30~15:00、於東京ガーデンパレス)の決議がされた。

また、報告事項として、評議員の現員数、役員の選任(予定)、第14回理事会の招集、第41回救急救命士国家試験の応募状況、救急蘇生法普及推進事業委員会、平成29年度病院前医療体制充実強化事業、任期満了に伴う各種委員会委員の選任について報告があり、了承された。

3. 第12回評議員会開催について

3月15日(木)16時00分より東京ガーデンパレスにおいて評議員会が開催されました。

会に先立ち、評議員の美濃部嶮医療法人財団康済会病院長が平成29年7月29日に死去された報告及び山村秀夫元理事長が平成29年11月25日に死去された報告があり、評議員会において黙祷によりご冥福をお祈りした。

議長には、定款第20条により相川直樹評議員が互選され、議事録署名人には定款第27条第2項により松田周三評議員と山本保博評議員が選出された。

議題及び報告事項は下記のとおりです。

<議題>

- (1) 評議員の現員数について
- (2) 役員の選任について

<報告事項>

- (1) 平成29年度収支予算書(変更案)について
- (2) 平成30年度事業計画及び収支予算書(案)について
- (3) 「事業推進総括委員会」及び「救急医療総合研究委員会」の廃止について
- (4) 第13回評議員会開催について
- (5) 第41回救急救命士国家試験の応募状況について
- (6) 救急蘇生法普及推進事業委員会について
- (7) 平成29年度病院前医療体制充実強化事業について
- (8) 任期満了に伴う各種委員会委員の選任について

評議員の現員数は美濃部嶮評議員の死去により、評議員は27名となるが、定款第14条の20名以上35名以内の範囲内であり後任の選任は行わず、後補充をしないことが決議された。

前全国消防長会会長高橋淳理事が辞任し全国消防長会会長の村上研一氏の就任が決議された。

報告事項として、平成29年度収支予算書(変更案)、平成30年度事業計画及び収支予算書(案)、「事業推進総括委員会」及び「救急医療総合研究委員会」の廃止、第13回評議員会開催、第41回救急救命士国家試験の応募状況、救急蘇生法普及推進事業委員会、平成29年度病院前医療体制充実強化事業、任期満了に伴う各種委員会委員の選任について報告があり、了承された。

研修研究部門に関する報告

穂苅 幸夫 研修研究部

1. 非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会について

平成30年3月1日(木)に、東京ガーデンパレスにおいて、非医療従事者によるAED使用のあり方特別委員会を開催され、「AEDの設置基準に関する作業部会」の活動状況について報告された。

また、「AED設置登録情報の有効活用について(AED設置登録情報等に関する小委員会報告書平成27年6月23日)の改訂について」、検討した内容が報告されました。

試験部門に関する報告

徳竹 伸重 試験免許部

1. 第41回救急救命士国家試験実施状況

3月11日(日)に全国5試験地(北海道、東京都、愛知県、大阪府、福岡県)において実施しました。

受験申込者は3,080名で、そのうち3,015人が受験し、2,562人が合格しました。(合格率は85.0%)

合格者の発表は、3月30日(金)午後2時に厚生労働省において、受験地、受験番号を掲示して発表するとともに、当財団のホームページに合格者の受験地、受験番号及び国家試験における採点除外等の取扱いとした問題、国家試験問題の正答肢を掲載しました。

また、受験者全員に成績通知書(合格者には合格証書)を郵送しました。

合格者の救急救命士名簿登録は、各人の申請に基づき救急救命士免許証を交付することとなっております。